



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス大倉山	階数	地上6F
建設地	横浜市港北区大倉山一丁目152番4	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	74人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,625時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2022年10月 竣工	評価の実施日	2022年9月20日
敷地面積	762㎡	作成者	株式会社IAO竹田設計
建築面積	517㎡	確認日	2022年9月20日
延床面積	2,398㎡	確認者	株式会社IAO竹田設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 住宅性能評価を受け、建物の耐久性、空気環境、高度通信インフラ、設備の維持管理に配慮を行い、バランスのある共同住宅を計画している		
<b>Q1 室内環境</b> 空気環境F★★★★を全面的に採用	<b>Q2 サービス性能</b> 高度通信インフラ: 100MBITクラスのブロードバンド回線 住宅性能評価 3-1劣化対策等級3	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> IV) 外部に防犯カメラを設置 V1) 2) 潜熱回収型効率給湯器採用
<b>LR1 エネルギー</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 2排出量参照値の95%	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別可能なLGS下地の採用	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 2排出量参照値の95%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

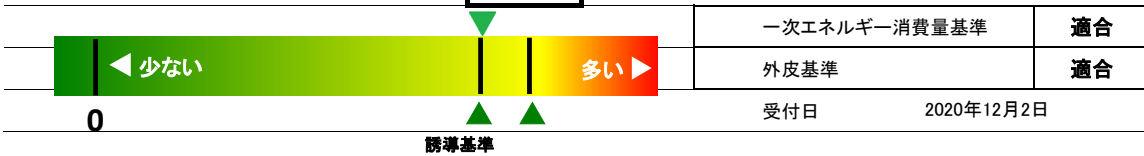
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ザ・パークハウス大倉山**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **10** %削減



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEI0.9

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥日本住宅性能表示基準「6-1ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)」における等級3を満たしている。

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
ザ・パークハウス大倉山

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.40			3.0
1 音環境				4.0	1.15	3.3	1.00	3.4
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音				5.0	0.50	3.6	0.50	-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	1.00	5.0	0.30	-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				3.0	-	-	-	-
2 温熱環境				1.6	0.35	4.0	1.00	3.5
2.1 室温制御				2.2	0.50	4.0	1.00	-
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-	-
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	4.0	1.00	-
2.1.3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				2.4	0.25	1.7	1.00	1.8
3.1 屋光利用				3.0	0.30	2.4	0.50	-
3.1.1 屋光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	3.0	0.50	-
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	1.0	0.30	-
3.1.3 屋光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				1.0	0.30	1.0	0.50	-
3.2.1 屋光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	1.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策				3.0	0.60	4.0	0.63	-
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	-
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	3.0	0.33	-
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.2	0.40	2.8	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	-
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-	-
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	1.00	-
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	-
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	4.0	0.50	-
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-	-
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
2.1.1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2.1.2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備		防災	⑯信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備		防災	⑯信頼性	2.0	0.20	-	-	-
2.4.3 電気設備		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備		防災	⑯信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.6	0.30	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり				-	-	4.2	0.50	-
3.1.1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	5.0	0.60	-
3.1.2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				2.6	1.00	-	-	-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.5 設備機器の更新性				1.0	0.20	-	-	-

# CASBEE<sup>®</sup>横浜 | 評価結果 | 2-111



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
ザ・パークハウス大倉山

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
ザ・パークハウス大倉山

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.0		
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.5		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.0	0.50	-	-	4.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.6		
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	2.7		
1 地球温暖化への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1		
2 地域環境への配慮				2.2	0.33	-	-	2.2		
2.1 大気汚染防止				-	-	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.67	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.33	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.33	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				-	-	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-	-		
1 騒音				-	-	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.67	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.33	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
<b>上記以外の重点項目</b>										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑭健康対策		5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑭健康対策		3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑭健康対策		3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑮防犯対策		4.0	-	-	-	-		